





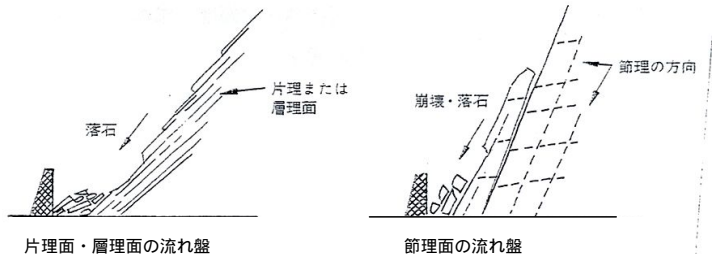





6 林 業

項 目	作 業 内 容
<p>(1)林内道路の管理</p>	<p>(今月の作業のポイント) 林内道路の排水対策</p> <p>7月22日高松地方気象台発表の1か月予報によると、向こう1か月の天気は平年に比べ晴れの日が少ない見込みであるが、気温について1週目は、平年並みまたは高い確率ともに40%の見込みのため、こまめな水分補給をするなど熱中症対策を心がけ作業を実施すること。降水量については、平年並みまたは多い確率ともに40%であるが、今後、台風による集中豪雨の季節を迎えるため、林内道路の管理を十分行ない降雨被害を未然に防ぐなど、被害の規模をできるだけ小さくすることが大切である。</p> <p>なお林内道路の管理は、市町、森林組合、所有者であり、使用者が限定されている場合が多いため、使用時に危険な箇所を確認しておき、可能であれば手入れをしておくことが大切である。</p> <p>ア 側溝・横断排水溝</p> <p>のり面の崩壊や浸食により、側溝(写真1)や横断側溝の入り口(写真2)が詰まる場合がある。林内道路は舗装されていない場合がほとんどで勾配もきついため、横断側溝が詰まり易くなる(写真3、4)。</p> <p>側溝、横断側溝が詰まると、路面水の流れが変わり、開設時に予定していなかったところへ水が流れ込み、森林の崩壊等につながる恐れがあるため、側溝等に詰まった土砂等は取り除くこと。</p> <p>また、林内作業車道は、間伐等で使用した後、次回の間伐まで使用しない場合が多いため、使用しない期間が長くなる場合は、横断側溝の斜面下部側に丸太を置くなどして、補強しておくこと(写真5)。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1 小崩壊で詰まった側溝</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2 入り口が詰まった横断側溝</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真3 土砂で詰まった横断側溝</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真4 土砂で詰まった簡易な横断側溝</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真5 丸太により補強した横断側溝</p> </div> </div>

項 目	作 業 内 容
	<p>イ ^{あんきよ}暗渠呑口部 林道が谷を通過する場合、暗渠（ヒューム管等）を用いる場合が一般的で、良好な排水を維持するために、呑口部（山側の入口）を設ける。呑口部が土砂、石礫、流木等で詰まり、ヒューム管等へ水が流れ込まなくなると、大きな災害につながる恐れがあるため、個人で除去できない場合は、市町等と相談して除去することが大切である（写真6）。</p> <p>ウ のり面等 林内道路では、必要最低限ののり面保護の施工の場合が多く、特に作業道では、コンクリート等の構造物による保護を実施しないのが一般的である。したがって、切取のり面（山側）の高い箇所（写真7）、流れ盤の箇所（図1）、破碎帯（写真8）や岩の風化の進んだのり面（写真9）は、大変危険である。また、盛土で作られた路体でクラック（ひび割れ）が見受けられる箇所（写真10）は、路体崩壊等の大きな災害の恐れが強くなる。上記のような箇所では、個人での事前の対応が難しいため、強い降雨が予想される場合は、通行を控えることが大切である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="454 1055 699 1375">  <p>写真7 のり高が高いのり面</p> </div> <div data-bbox="778 1070 1497 1323">  <p>図1 流れ盤の模式図</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="438 1422 810 1666">  <p>写真8 破碎帯ののり面</p> </div> <div data-bbox="842 1375 1086 1666">  <p>写真9 風化の進んだのり面</p> </div> <div data-bbox="1157 1375 1401 1666">  <p>写真10 クラックが生じた盛土部</p> </div> </div> <p>エ その他 林内道路は、同一路線であっても場所により土質が異なるとともに、開設後の経過年数により状況も変化するため、日頃から、状況を把握し危険な箇所を確認しておくことが大切である。災害が起きた場合は、林道については災害復旧事業の対象となる場合があるので、管理する市町、森林組合に問い合わせると良い。</p>